



- ・高温乾燥が続いております。基の葉の黄変などもあり、高温下では着色系品種の色上がりが心配されます。
- ・肥大状況は前年比巨峰約 107%、シャイン約 114%程度。(長野県果樹試験場 7/28)
- ・現在発生している主な病害虫はありません。収穫期の晩腐病の発生が心配されます。

第 14 回 (第 11 回) 【ぶどう定期最終防除】(べと病、さび病防除)

散布時期	前回から10日後(8月中下旬)				
散布品種	全品種				
散布薬剤	水	100	ℓ	散布日 月 日	
	ICボルドー-66D	—	2.5		kg
	ビッグマグ	葉色向上	100	g	葉面散布剤です。
散布量	400ℓ/10a				
注意点	ICボルドー-66Dに代えてボルドー液を使用する場合は、展着剤を水100ℓあたり10ml加用し、「4-4式(生石灰400g・硫酸銅400g)」「ワインぶどう4-2式(生石灰200g・硫酸銅400g)」とする。 ① ICボルドー-66Dに代えて4-4式ボルドー、コサイド3000 2,000倍、ムッシュボルドーDF500倍を使用してもよい。(コサイド、ムッシュ使用時薬害心配な園はクワノを加用する。) ② コサイド・ムッシュボルドー使用時は展着剤を加用する。(ハイテンパワーやアピオンーE等) ③ ボルドー液散布の際は、近隣園に飛散しないよう注意する。(汚れ・もも・プラム等への薬害)				

露地ぶどう収穫目安について

ぶどうの熟度が進んでおります。収穫前には糖度や食味を必ず確認して下さい。

品種	8/1 調査時糖度	コメント
サニールージュ	16~17%	早く仕上がる傾向。収穫時期注意
ナガノパープル	12~14%	粒の付け根まで着色したら収穫
有核巨峰	10~14%	食味確認後収穫
種なし巨峰	12.5~14%	糖度を確認後収穫
シャインマスカット	11~12%	9月中旬以降の収穫か?

今後の管理について(干ばつ対策・裂果対策・害虫対策)

1. 干ばつ対策について

- ・高温干ばつが続くと、肥大不足・日焼け・新梢伸長不良等が心配されます。
- ・こまめなかん水・敷き藁で地面の水分が蒸発し難くなるように対策を講じて下さい。

2. 裂果対策

- ・乾燥状態の現在から急激な降雨をもらうと、品種により裂果する場合があります。
- ・週間予報を確認し、長雨が心配されるようであればビニールを幹周辺に敷き、吸水防止をする。
- ・急激な水分ストレス緩和のため定期的なかん水を実施する。
- ・特に3日間曇雨天が続く場合は十分に注意する。

3. 病害虫対策

- ・散布可能な農薬が限られています。病害虫が発生し、農薬を散布したい場合は技術員へご相談下さい。(散布の際は、使用回数や収穫前使用時期に注意)